

### ENGINE版インターンシップ 中間報告会を開催！

ENGINE版インターンシップは富山大学、信州大学、金沢大学の学生が、富山県、長野県、石川県の地域企業の協力のもと、ENGINEのキーコンセプトである**創新・連繋・突破**を体現している人材に取材をして、その内容をコンテンツとして映像に残す課題に取り組んでいます。

ENGINE版インターンシップでは、9月のスタート時に、3大学21人名の参加学生に対し、目標設定に関するアンケート調査を実施しました。まず、インターンシップを通じて、**創新**（現状を把握する力・目的を設定する力・変わり続ける力）・**連繋**（繋ぎ合わせる力・巻き込む力・役割を果たす力）・**突破**（粘り強くやり抜く力・失敗を恐れず挑み続ける力）のうち、『さらに伸ばしたい強み』についての問いについては「**変わり続ける力**」38.1%、次いで「**失敗を恐れずに挑み続ける力**」が28.6%という結果になりました。また、『自身が克服したい課題について』の問いに対しては、「**巻き込む力**」と答えた学生が23.8%との結果になりました。

3回目（第2回）となる10月13日の講義では、映像コンテンツのコンセプト、取材対象者像について、4チー

ムがそれぞれ10分間の中間報告会をオンラインで行いました。この中間報告会には、取材対象である協力企業のほか、映像や取材の方法をプロの視点からのアドバイスを担当するテレビ局など12社が参集、総勢42名による、熱を帯びた中間報告会となりました。本学の参加学生の吉本駿哉さん(1年/経済)は「**企業に向けたプレゼンテーションは初めてでしたが、自分らしく発表が出来て満足感でいっぱいです**」と感想を述べています。

「ENGINE NEWS」では、引き続き、2月の成果報告会まで、学生の奮闘ぶりをお伝えしていく予定です。



2021年10月13日 ENGINE版インターンシップ「中間報告会」の様子

11月2日(火)15:10~16:40

### 信州大授業「キャリア形成論」

NHK放送局専任部長が登壇

ZOOM聴講  
してみよう

NHK放送局には、これまで放送してきた番組やニュース、地域の風土、戦争や災害など歴史的に重要な事柄、人物毎に出演した番組など、多くの動画が保管されています。

信州大「キャリア形成論」では、NHKアーカイブスが保存している「4Kカラーでよみがえる終戦直後の日本」や「よみがえる新日本紀行」などの番組のうち、古いフィルムデジタル化・白黒フィルムカラー化、当時の色を再現した映像の再生化、AI、メタデータを活用したアーカイブ化についてNHK放送局知財アーカイブス部 専任部長千野博彦氏が登壇し講義致します。富大生も聴講可能です。この機会に信大の授業に参加してみませんか？

【日時】 11/2 (火) 15:10~16:40  
※富大の時間割と異なります

【聴講方法】 zoom (入退室自由)

【講師】 NHK放送局知財アーカイブス部 専任部長 千野 博彦氏

【講義概要】 信州大学「キャリア形成論Ⅱ」  
「映像資産を未来へつなぐ」

【申込み】 要予約 (右のQRコードにて申込み。申込み後、回答したメールアドレスあてにzoomのURLが届きます)



### ENGINE科目の紹介 「産業観光学」

後期のENGINE科目は「産業観光学」「富山のものづくり概論」の2科目を開講しています。第4号では、月曜日の2限に開講している「産業観光学」の講義の様子を紹介します。

10月11日は武山良三理事が登壇し、「現場だからわかる産業観光施設の魅力」と題して講義を行いました。武山理事は、まず、変化を求める現代社会においては「主観だけではなく、自己と他者とのすり合わせが必要」、さらに「感性を数量化・統計化していくことが問われている」と指摘しました。また、富山ガラス工房や、高岡御車山祭等の事例を取り上げながら、五感に訴えるメッセージの重要性についての解説がありました。

産業観光のアプローチを通じて、感性に価値を抱きつつ、能動的に地域で活動することの意味を見出せたのではないのでしょうか？

